

事例③ 5歳児クラス・4月～3月

ねらい「食材に触れ、五感で感じたことを表現する」

「育てる・食べる・遊ぶ・つながる」

子どもの姿

前年度から虫や植物に関心を持ち、親しみをもって育て、その生長過程を楽しみにしている姿がありました。今年は育てることに加え、育てたものを味わえる作物（ポップコーンになるトウモロコシ・稲・枝豆）を育ててみることにしました。その際、食べられる部位だけでなく、収穫した作物がまるごと活用できるよう、給食で出た食材の皮や端切れなども遊びや生活の中で手にとれるよう、工夫を図ってみました。

子どものあそびや経験

行動・発言

クラスでポップコーンになるトウモロコシを育て始めました。生長する様子を観察していた時のこと…。「いつ白いのできるのかな?」「白?黄色じゃなくて?」「うん!だってポップコーンが出来るんですよ!ここに出来るのかな?」トウモロコシではなくポップコーンがそのまま出来ると思った子どもたち。その後、図鑑などで調べて、とうもろこしからポップコーンが出来ることを知り、驚いていました。皮むきをすると、「あれ、これコーンだね」といつも食べているものであると理解が繋がる子も。そして、「コーンがどうやってポップコーンになるのかな?」とわくわくが止まらない様子でした。そして、待ちに待ったポップコーン作り。パン!パン!とはじける音や香ばしい香りに大興奮。いつものコーンが、ポップコーンに変身した姿に大喜びの子どもたちでした。



■さあ!収穫!!



先生より大きいよ!



■あれ?これコーンじゃない?



ただいま乾燥中



いいにおい~



■トウモロコシの皮で大変身!



行動・発言

トウモロコシの皮むきをし、その皮を干して残しておきました。干した皮を使って、編み込みをしてオーナメント作りをした時のこと。「先生、残った皮使っていい?」と言って皮で何かを作り始めたかと思うと、「ネックレス」「指輪」「髪に飾ってみた」と形あるものに変身!自分たちで育てたトウモロコシを余すことなく活用し、想像を膨らませながら楽しんでいました。

ポイント

■楽しいこと、小さい人たちにも教えたいね



◎配慮事項(環境構成、保育者の関わりなど)

- 給食の野菜の切れ端でスタンプ遊びを思いついた子どもたち。「小松菜の切り口はバラみたい!」「『やさいのおなか』だね」と楽しい発見がたくさん。すると「…これは何の野菜でしょう?」と、いつのまにかクイズの出しっごに。調理員さんとも、「これは面白い発見だね!」となり、子どもたちと「きょうの野菜クイズ」の掲示に仕立てました。
- ◎子どもたちの試してみたい!を形にできるよう、遊びが発展するための様々な道具や材料を用意しておく。
- ◎他クラスの子とも共有できるように、目に付く廊下に貼る。
- ◎クイズの答えを5歳児に聞くようにすることで、他クラスにも関心や遊びが共有できる機会に。

■食を通して小学校との交流



行動・発言

トウモロコシ収穫の時期、ちょうど近隣の小学校から畑の土作りに使う「野菜くず」集めの協力依頼がありました。そこで、5歳児クラスが代表で、自分たちの育てたトウモロコシの皮や、本園の調理室から出る野菜くずを小学校に持参しました。小学校の学習ボランティアさんから、「野菜くずが土に混ざると、『菌ちゃん』が食べていい土を作り、またおいしい野菜ができるんだよ」と教えてもらいました。その後の給食の時間、「菌ちゃん食べてるかな?」「あのトウモロコシも菌ちゃんが作ったのかな?」と思いを伝え合う姿が見られました。

あそびや経験が小学校につながるように

この活動を通して、食を遊びの中に取り入れたことで、食への意欲や食材への興味・関心を高めました。そこで感じたことを自分なりに表現したり、発見を楽しめるようにしました。こうした経験から探究心が育ち、そこから感じたことを素直に表現できるようになっていく姿がありました。(保育者)

小学校では、このような活動の経験を生かしながら、生活科では、1人ひとりが植物や動物のお世話をします。昆虫の動きをじっくり観たり、アサガオの花のつぼみの色の違いをくらべたり、身近なものの形にたとえたりして様々に表現します。ポイントのように、自分なりにたどる経験や発見を工夫して伝える楽しさは、小学校での学びを大いに含むものです。(小学校教員)

子ども自身に豊かな関わりをもたらす環境、就学前施設では保育者がねがいをもち整えています。この園ではトウモロコシの栽培をきっかけに、これらの経験を通して多くの興味・関心、知識を広げ、そして社会とのつながりを得ています。幼児期に得た関心や意欲が、学ぶことの面白さへとつながるよう、小学校では教師らが授業や生活の中で対話的に引き出しています。幼児期の五感を通した豊かな経験が、小学校で意欲的に学ぶ姿に見ることが出来ます。(コーディネーター)